



# なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

## 「想像・想定・相談」

副校長 青島 大受

暦の上では春に近づいておりますが、寒さが続き、あたたかな春が待ち遠しい季節です。先日の能登半島沖の地震では、今もなお、余震が続き、多くの方が不自由な生活を強いられ、不安な日々を過ごしていることと思ひ、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。



さて、先日、避難訓練を行いました。1月の防災訓練は、いつ起こるか分からない災害に対して、自ら考え行動する力を育成するために、子どもたちに予告をせずに行う予定でした。しかし、先日の地震を受け、子どもたちに必要以上の不安を抱かせないように

と、教職員で相談し、予告をして行うことにいたしました。訓練は、大きな地震が起きた後に、技術員室から出火したこと想定して行いました。子どもたちは、放送や教職員の指示を落ち着いて聞き素早く避難することができていました。行った後には、教職員で振り返りをして改善するところがあれば見直しています。このように、本校では、様々な災害が起きたときのことを想像し、その状況を想定した訓練を毎月行い、訓練内容等を相談し合っています。本校の子どもたちは、毎回の訓練に防災意識を高くもって臨んでいます。実に望ましい姿です。



私は、10月に4年生の授業に参加しました。その際、4年生の児童から「防災備蓄庫にある備品や備蓄品が何のためにあるのか」や「どのように使うのか」等の質問を受けました。子どもたち自身も、防災意識が確実に芽生えていることを強く感じました。また、5月には「中和田南小学校 地域防災拠点運営委員会」に出席させていただきました。地域防災拠点運営委員の皆様を中心に、「地域防災拠点運営マニュアル」を作成して、学校や区役所の方々とも連携しながら非常時に備えた話し合いを行っていました。11月には地域防災拠点訓練にも多くの方々に参加されていました。

自然災害の前では、人間の無力さを感じてしまいます。しかし、自分や家族、目に映る人々を守るために、いつ起こるか分からない災害に対して、事前に「想像・想定・相談」を重ね、備えることはできます。学校においても、災害等から、子どもたちの安全・安心を守るための相談を常に行っています。もちろん、施設・設備についても、この「想像・想定・相談」をして修繕・改善してまいりました。教職員による安全点検や業者による設備点検や工作物点検等の定期点検をはじめとして、日常的に「想像・想定・相談」をしています。今年度は、3階の転落防止柵や正門電子錠の敷設も行いました。

これからも、大切な子どもたちを守るために、子どもたちと一緒に、「想像・想定・相談」をしていきます。

今年度、本校ではいくつかの工事を行ってまいりました。2月3日より3月10日までの期間、給排水管工事を行います。ご迷惑をおかけすることと思ひますが、ご承知おきください。